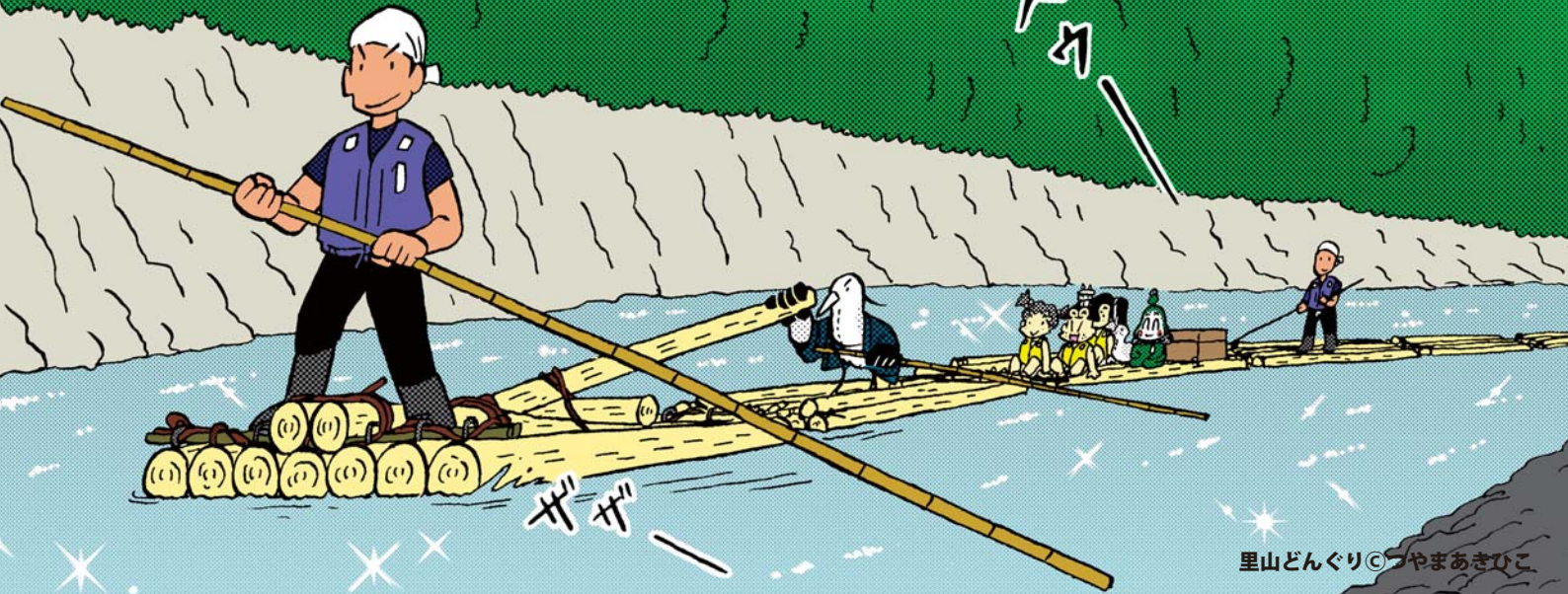




いかだにのってみよう!



里山どんぐり©やまあきひこ

日時：2018年9月8日(土) 13:00～16:00 順延日 9月15日(土)

※小雨の場合は開催します。但し各種警報発令時、河川の流況によっては順延または中止いたします。

場所：保津川下り乗船場向かいの河川敷（保津浜）

- 13:00～16:00
- ◇ 保津川の川べりでいかだの試し乗り：参加費無料
試乗記念木製コースター、ひんやり冷たいかき氷付!!（各数量限定）
 - ◇ いかだ流しなど保津川水運の歴史のパネル展示など
- 16:00～17:00
- ◇ イベント後、保津浜から山本浜（トロッコ亀岡駅付近）まで、保津川下り船頭衆による筏流しの実演を行います。

保津川のいかだの歴史は古く、約1200年前の平安京造営までさかのぼります。いかだを初めて見る方は親子で、いかだが懐かしい方はお孫さんとともに、遠い昔に思いをはせながら、いかだに乗ってみませんか？

※試乗時の注意事項 ライフジャケット着用（こちらでご用意いたします）。小学生以下のお子さまは保護者同伴。3歳未満のお子さまは、いかだ上での記念写真の撮影のみとさせていただきます。濡れても支障のない格好でお越しください（裸足はだめ）。水分補給は各自でお願いします。保険に入っておりますが、安全には十分お気をつけてください。

●お問い合わせ

亀岡市文化資料館 TEL: 0771-22-0599 FAX: 0771-25-6128 E-mail: bunka-siryoukan@city.kameoka.kyoto.jp
URL: <http://hozugawa.org/program/ikada.html>

主催：京筏組（保津川筏復活プロジェクト連絡協議会）

京都府南丹広域振興局 亀岡市文化資料館 南丹森のエコミュージアム
特定非営利活動法人プロジェクト保津川 京都学園大学歴史民俗学専攻 保津川の世界遺産登録をめざす会
天若湖アートプロジェクト実行委員会 桂川流域ネットワーク 株式会社アオキカヌーワークス
京都てぼうき カップ研究会 株式会社丸昇木材

助成：京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金
平和堂財団環境保全活動助成事業「夏原グラント」
平成30年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金



京都・保津川の筏流し

かつて、保津川(桂川)には丹波山地で伐り出された材木を運ぶ筏流しが盛んにおこなわれていました。その歴史は古く、奈良時代にまでさかのぼるといわれています。

保津川の筏流しは、材木や商品の運搬によって京の都の人々の暮らしを支えた一方で、たとえば足利尊氏による天龍寺造営や豊臣秀吉による大坂城や伏見城築城など、その時代の大事業においても大きな貢献を果たし、時の権力者からも特別な地位を認められてきました。江戸時代末期には経済の発達にもなって輸送も飛躍的に増加し、最盛期には毎年 90 万本もの材木が京都・大坂に送られ、保津川流域は大きく栄えることとなります。

半世紀ぶりの筏復活をめざして

古代から近世にかけて大きく栄えた保津川の筏流しですが、明治・大正期の山陰本線の開通や国道の整備によるトラック輸送の普及とともに次第に衰退し、戦後しばらくして完全に途絶えてしまいます。現在、流域にご健在の元筏士の方々も数名となり、貴重な伝統技術とともに、筏の記憶も、今まさに途絶えようとしています。そこで 2007 年 8 月に日吉ダム(南丹市日吉町)で行われた天若湖アートプロジェクト 2007 では、元筏士の方々の指導のもと、伝統的な技法による筏の復元を行いました。2008 年に約 60 年ぶりに保津大橋(亀岡市保津町)から、かつて筏の中継地であった山本浜(同篠町)まで、2009 年に保津峡・落合から嵐山までの筏流しを復活し、さらに 2014 年保津川下り係留場、2017 年嵐山にて、12 連約 50m の筏を復活することができました。

そして筏流しを広く知っていただくために 2011 年より一般参加型の試乗体験イベント「いかだにのってみよう!」を開催しています。

この貴重な歴史遺産を多くの方々が体験し、かつて流域を結んだ川の営みを実感していただくことで、「筏がつなぐ歴史の記憶」を甦らせたいと考えています。



保津川の筏流し 昭和初期の絵葉書



保津峡を下る筏 2009 年 9 月 9 日



いかだ試乗会 2012 年 9 月 15 日



保津川で復活した 12 連筏 2014 年 2 月 16 日 写真提供：日向工房

京都学園大学 & 京都府立林業大学校のみなさん

このイベントでは、京都学園大学歴史民俗学専攻や京都府立林業大学校などの学生のみなさんが、各々専門知識や体力を活かし、筏の歴史の展示物の作成、いかだ作りやいかだ流しに活躍しています。若者たちが、保津川の歴史を実体験し共有することで、保津川の文化を次の世代へと引き継いでくれることでしょう。

